



# 第110期 株主通信

2010.4.1 ▶ 2011.3.31



**富士急行株式会社**

証券コード：9010

# 高飞车

タカビジャ

スリルと興奮渦巻く、  
新型コースター

富士急ハイランドに  
7月16日登場!

## CONTENTS

ごあいさつ	1
事業別概況（連結）	2
連結財務諸表	4
単独財務諸表	6

FUJIKYU TOPICS (Year In Review)	8
NEWS & TOPICS	10
会社概況・株式情報	14
株主優待のご案内	16



株主のみなさまには、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
この度の東日本大震災で被災されたみなさまには、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当期におけるわが国経済は、企業業績に回復傾向がみられたものの自律性は弱く、長引く円高やデフレの影響、また、厳しい雇用・所得環境による先行き不透明感から個人消費が低迷するなど、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりましたが、本年3月11日に発生した東日本大震災により、施設への被害は軽微であったものの、市場環境の急激な悪化により大きな影響を受け、当期の連結売上高は445億89百万円、経常利益は15億74百万円となりました。

運輸事業では、安全管理体制の構築、安全意識の浸透を継続的に図ることを目的とした運輸安全マネジメントに基づき、鉄道、索道、自動車、船舶の各事業で重点施策、安全目標を設定し、より一層安全で快適な輸送の実現に向け取り組みました。

鉄道事業においては、平成22年8月に富士急行線のトーマスランド号にキッズ運転席を設置し、新たな魅力を加えるとともに、観光列車「富士登山電車」を活用したイベント列車を運行するなど、需要の喚起を図りました。バス事業における乗合バスにおいては、お客様の利便性向上を図るため、富士急山梨バス株式会で平成22年12月から山梨県笛吹市と富士河口湖町を結ぶ「若彦トンネル」の開通に合わせ、新規路線バスの運行を開始しました。貸切バスにおいては、

平成22年8月に河口湖で屋根のないオープンバス「KABA BUS」を運行開始し、増収に努めました。

レジャー・サービス事業では、「富士急ハイランド」において、平成22年7月に人気アニメ映画「エヴァンゲリオン新劇場版」の世界観が楽しめるパビリオン「EVANGELION：WORLD」をオープンし、集客に努めました。また、「きかんしゃトーマス」の原作出版65周年を記念して新たに「トーマスランド3Dシアター」「GO！GO！バルストロード」と、人気ゲームソフト「戦国BASARA」と提携したウォークスルー型アトラクション「合戦 戦国BASARA」をオープンし、施設の魅力向上を図りました。富士南麓の遊園地「Gripa」では、平成22年7月に考えるアスレチック「ピカソのタマゴ」を、さらに12月には冬季限定の「雪ピカソ」をオープンし、集客力の強化に努めました。「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、2年目となるイルミネーションイベント「さがみ湖イルミリオン」のLED照明を200万球に増強し、前回の約3倍となる16万人のお客様にご来場いただきました。

平成23年度も、当社グループを取り巻く事業環境は、長期化するデフレの影響に加え、東日本大震災による電力不足、軽油価格の高騰、また、消費意欲のさらなる低下が懸念され、一段と厳しい状況が続くものと考えられます。

こうした状況のなかで運輸事業では、引き続き運輸安全マネジメントを実践し、安全の確保に最優先で取り組んでまいります。鉄道事業においては、富士吉田駅を富士山・富士五湖地域の新たなランドマークとして、また、富士登山や富士山観光のゲートウェイとして再構築すべく、本年7月に「富士山駅」に名称変更し、国内外のお客様への知名度向上と富士北麓エリアへのさらなる集客・誘致を図ってまいります。バス事業の貸切バスにおいては、新たな観光資源として、「KABA BUS」に続き、本年4月から山中湖で陸上と湖面から自然を満喫できる水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」を運行開始し、新たな需要の喚起に努めてまいります。また、市場環境の急激な変化に対応するため、事業規模、営業体制の見直しに鋭意取り組んでまいります。

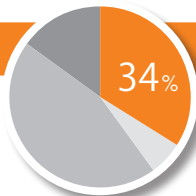
レジャー・サービス事業につきましては、本年7月、「富士急ハイランド」に「フジヤマ」「ドドンパ」「ええじゃないか」に次ぐ大型コースター「高飛車」を新設するほか、「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、デイキャンプ場の一部をリニューアルし、施設の充実を図るとともに、「Gripa」では、「ピカソのタマゴ」をさらに拡充し、入園者の増加に努めてまいります。

本年9月に創立85周年を迎える当社グループは、「富士を世界に拓く」の創業精神のもと、富士山を中心とした自然保護活動の推進、環境への配慮、地域社会への貢献など、企業の社会的責任をさらに果たしてまいります。また、引き続き高付加価値商品・サービスを創造してお客様にオリジナリティの高い「喜び」と「感動」を提供し、アメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月  
代表取締役社長 堀内 光一郎

## 事業別概況（連結）



### 運輸事業

鉄道事業につきましては、観光鉄道化を一層推進するため、8月にトーマスランド号にキッズ運転席を設置し、新たな魅力を加えるとともに、観光列車「富士登山電車」を活用したイベント列車を運行するなど、需要の喚起を図りました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、お客様の利便性向上を図るため、富士急山梨バス株式会社が12月から山梨県笛吹市と富士河口湖町を結ぶ「若彦トンネル」の開通に合わせ、新規路線バスの運行を開始しました。さらに、7月に社団法人山梨県バス協会が運用を開始したバス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」に山梨県下の路線バスの時刻表や接近情報等を提供しました。

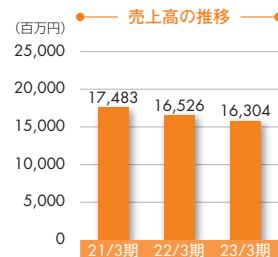
高速バス営業につきましては、株式会社フジエクスプレスで5月に「横浜駅～御殿場プレミアムアウトレット線」、富士急シティバス株式会社が7月に「三島駅～新宿駅線（みしまコロッケ号）」の新規路線を運行開始し、10月には、富士急静岡バス株式会社の「富士宮～羽田空港線」を新国際ターミナルまで延伸するなど、新たな需要の喚起に努めました。

貸切バス営業につきましては、8月に河口湖で屋根のないオープンバス「KABA BUS」を運行開始し、増収に努めました。また、8月に開催された「日本ジャンボリー」や11月に開催された「APEC（アジア太平洋経済協力会議）」などの大型輸送を受注しました。

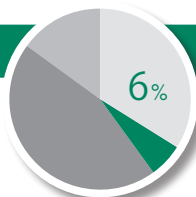
ハイヤー・タクシー事業につきましては、富士急山梨ハイヤー株式会社が営業時間を24時間体制とし、お客様の利便性向上を図りました。

運輸事業につきましては、安全管理体制の構築、安全意識の浸透を継続的に図ることを目的とした運輸安全マネジメントに基づき、鉄道、索道、自動車、船舶の各事業で重点施策、安全目標を設定し、より一層安全で快適な輸送の実現に向け取り組みました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は16,304百万円（対前期98.7%）となりました。



富士登山電車



### 不動産事業

不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地で大人の趣味・嗜好を追求できる『コンセプト・ヴィラ』シリーズに「ガーデニングハウス山中湖」を加えるとともに、リビングとウッドデッキが一体となり開放的な居住空間を満喫できる「リビングテラス山中湖」を新たに商品化し、需要の喚起に努めました。

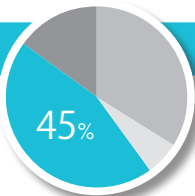
また、より快適な別荘ライフを提供するため季節ごとに各種イベントを開催し、山中湖畔別荘地では夏季に、「オーナーズバス」の運行、「オーナーズルーム」を新設するほか、ゴミステーションを更新するなど、別荘地の価値向上に努めました。

不動産賃貸事業につきましては、用地活用、積極的なテナントリーシングを行い、安定的な収益の確保に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は2,651百万円（対前期102.2%）となりました。



リビングテラス山中湖



## レジャー・サービス事業

遊園地事業につきましては、「富士急ハイランド」で、4月に人気テレビ番組「ピラメキーン」と提携したイベントを開催し、7月には人気アニメ映画「エヴァンゲリオン新劇場版」の世界観が楽しめるパビリオン「EVANGELION: WORLD」をオープンするなど、集客に努めました。また、「きかんしゃトーマス」の原出版65周年を記念して新たに「トーマスランド3Dシアター」「GO! GO! GO! パルストロード」と、人気ゲームソフト「戦国BASARA」と提携したウォークスルー型アトラクション「合戦 戦国BASARA」をオープンし、施設の魅力向上を図りました。さらに、猛暑のなかでも雪遊びがお楽しみいただける「夏の雪遊び広場」を初めて導入し、好評を博しました。さらに12月には、高さ日本一（60m）のツリーを中心としたイルミネーションイベント「FUJIYAMA ILLUMINATION」の開催や屋内スケートリンクを新設するなど、増収に努めました。

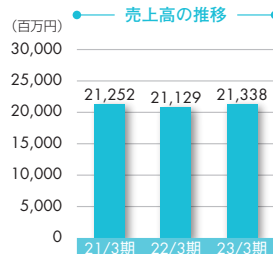
富士南麓の遊園地「Grinpa」では、7月に考えるアスレチック「ピカソのタマゴ」を、さらに12月には冬季限定の「雪ピカソ」をオープンし、集客力の強化に努めました。

「さがみ湖リゾートプレミアムフォレスト」では、7月に「ピカソのタマゴ」に“水”のアスレチック「アクアリズム」を夏季限定で開業し、「夏の雪遊び広場」とともに涼を求める多くのお客様にお楽しみいただきました。また、園内の宿泊エリアに、新トレーラーハウスエリア「マウンテンビュー・キャラバンズ」をオープンし、多くのお客様にご利用いただきました。11月には、2年目となるイルミネーションイベント「さがみ湖イルミリオン」のLED照明を200万球に増強し、前回の約3倍となる16万人のお客様にご来場いただきました。また、「雪あそび広場」もゲレンデの広さを2倍に拡張し、好評を博しました。

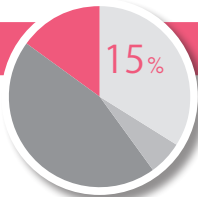
ホテル事業につきましては、12月に「ハイランドリゾート ホテル&スパ」にダイナミックな富士山の眺望が楽しめるメインダイニング「FUJIYAMA TERRACE」をオープンし、ホテルの魅力向上に努めました。また、平成23年3月に登場した日本初のエヴァンゲリオンをテーマにしたゲストルーム「EVANGELION: ROOM」が話題を集めました。

その他のレジャー・サービス事業につきましては、富士急セールス株式会社では、7月に訪日観光客の伸長が期待できる中国上海にセールス拠点を開設し、当社グループ施設への誘致を図りました。また、「富士本栖湖リゾート」で3年目となる「富士芝桜まつり」を4月中旬から5月末まで開催し、営業日数の拡大や早朝営業の実施、物販・飲食部門の強化により、前回は上回る43万人のお客様にご来場いただきました。

以上の結果、ゴルフ場事業を含めたレジャー・サービス事業の営業収益は21,338百万円（対前期101.0%）となりました。



さがみ湖イルミリオン



## その他事業

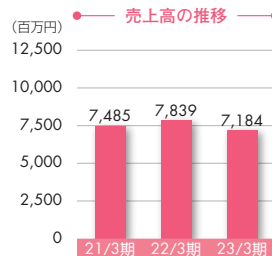
株式会社富士急百貨店では、富士吉田富士急ターミナルビル「Q-STAY」のフィットネスクラブ「ヴィーナスライフ」が山梨県で唯一厚生労働省から指定運動療法施設の指定を受け、他店との差別化を図りました。また、富士急建設株式会社では、民間工事の受注に

努めたほか、株式会社レゾナント・システムズでは、観光庁が推進する「言語バリアフリー化」にあわせ、多言語化に対応した放送機器の販売を展開し、需要の喚起を図りました。株式会社富士急ビジネスサポートでは、人材派遣先の新規獲得に努めました。

以上の結果、その他事業の営業収益は7,184百万円（対前期91.6%）となりました。



フィットネスクラブ「ヴィーナスライフ」



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成23年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成22年3月31日現在)		当連結会計年度 (平成23年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成22年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>22,188</b>	<b>20,989</b>	<b>流動負債</b>	<b>24,068</b>	<b>23,366</b>
現金及び預金	8,884	7,614	支払手形及び買掛金	1,752	2,403
受取手形及び売掛金	1,964	2,231	短期借入金	16,444	16,588
たな卸資産	10,022	9,890	賞与引当金	415	431
その他	1,316	1,252	その他	5,455	3,943
<b>固定資産</b>	<b>64,780</b>	<b>63,953</b>	<b>固定負債</b>	<b>46,813</b>	<b>46,001</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>55,657</b>	<b>54,984</b>	長期借入金	39,673	38,990
建物及び構築物	26,831	27,382	退職給付引当金	1,092	1,320
機械装置及び運搬具	6,652	7,562	その他	6,048	5,690
土地	16,666	16,593	<b>負債合計</b>	<b>70,882</b>	<b>69,367</b>
建設仮勘定	2,457	682	<b>(純資産の部)</b>		
その他	3,050	2,764	<b>株主資本</b>	<b>15,624</b>	<b>15,551</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>3,088</b>	<b>3,062</b>	資本金	9,126	9,126
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,035</b>	<b>5,906</b>	資本剰余金	3,417	3,407
投資有価証券	4,172	4,111	利益剰余金	4,647	4,511
その他	1,862	1,795	自己株式	△1,566	△1,494
<b>資産合計</b>	<b>86,969</b>	<b>84,942</b>	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△80</b>	<b>△457</b>
			その他有価証券評価差額金	△80	△457
			<b>少数株主持分</b>	<b>543</b>	<b>481</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>16,086</b>	<b>15,574</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>86,969</b>	<b>84,942</b>

## 連結損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業収益		44,589	44,865
営業費		41,974	42,158
<b>営業利益</b>		<b>2,615</b>	<b>2,707</b>
営業外収益		204	228
営業外費用		1,245	1,395
<b>経常利益</b>		<b>1,574</b>	<b>1,539</b>
特別利益		588	352
特別損失		1,388	441
<b>税金等調整前当期純利益</b>		<b>774</b>	<b>1,450</b>
法人税、住民税及び事業税		573	663
法人税等調整額		△492	14
少数株主損益調整前当期純利益		692	—
少数株主利益		27	16
<b>当期純利益</b>		<b>665</b>	<b>755</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度	前連結会計年度
		(平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	(平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>4,636</b>	<b>4,962</b>
税金等調整前当期純利益		774	1,450
減価償却費		4,586	4,470
その他損益等調整額		1,785	1,195
資産・負債の増減額		△675	△562
小計		6,471	6,554
利息の支払額等		△1,834	△1,591
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>△4,957</b>	<b>△3,246</b>
有形固定資産の取得による支出		△5,465	△3,770
その他		508	524
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>1,592</b>	<b>△1,026</b>
借入金の増減額		556	△288
その他		1,036	△738
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>		<b>1,271</b>	<b>689</b>
現金及び現金同等物の期首残高		7,533	6,844
現金及び現金同等物の期末残高		8,805	7,533

## 連結株主資本等変動計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

単位：百万円

	株主資本					その他の包括 利益累計額	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計			
平成22年3月31日 残高	9,126	3,407	4,511	△1,494	15,551	△457	481	15,574
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△528		△528			△528
当期純利益			665		665			665
自己株式の取得				△120	△120			△120
自己株式の処分		9		48	57			57
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						377	61	439
連結会計年度中の変動額合計	—	9	136	△72	73	377	61	512
平成23年3月31日 残高	9,126	3,417	4,647	△1,566	15,624	△80	543	16,086

# 単独財務諸表

## 貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	第110期 (平成23年3月31日現在)	第109期 (平成22年3月31日現在)		第110期 (平成23年3月31日現在)	第109期 (平成22年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>19,299</b>	<b>18,487</b>	<b>流動負債</b>	<b>19,211</b>	<b>18,463</b>
現金及び預金	7,656	6,563	短期借入金	13,738	13,711
未収運賃	456	577	未払金	984	1,429
未収金	376	642	賞与引当金	63	68
たな卸資産	8,646	8,729	その他の流動負債	4,424	3,253
その他の流動資産	2,164	1,979	<b>固定負債</b>	<b>42,400</b>	<b>41,658</b>
貸倒引当金	△2	△5	長期借入金	37,908	37,378
<b>固定資産</b>	<b>57,372</b>	<b>56,559</b>	退職給付引当金	11	206
鉄道事業固定資産	2,948	2,923	預り保証金	3,241	3,225
自動車事業固定資産	4,788	4,682	その他の固定負債	1,238	847
観光事業固定資産	27,692	28,476	<b>負債合計</b>	<b>61,611</b>	<b>60,121</b>
土地建物事業固定資産	9,386	9,603	<b>(純資産の部)</b>		
各事業関連固定資産	1,990	2,052	<b>株主資本</b>	<b>15,143</b>	<b>15,370</b>
その他の固定資産	365	374	資本金	9,126	9,126
建設仮勘定	2,366	583	資本剰余金	3,399	3,399
投資その他の資産	7,833	7,863	利益剰余金	3,803	3,910
投資有価証券	4,943	4,861	自己株式	△1,186	△1,066
長期貸付金	2,163	2,322	<b>評価・換算差額等</b>	<b>△82</b>	<b>△445</b>
その他の投資等	783	741	その他有価証券評価差額金	△82	△445
貸倒引当金	△57	△62	<b>純資産合計</b>	<b>15,060</b>	<b>14,925</b>
<b>資産合計</b>	<b>76,672</b>	<b>75,046</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>76,672</b>	<b>75,046</b>



## 損益計算書（要旨）

単位：百万円

科 目	期 別	第110期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)		第109期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	
<b>鉄道事業</b>					
営業収益		1,278		1,289	
営業費		1,236		1,253	
営業利益		41		36	
<b>自動車事業</b>					
営業収益		2,728		2,852	
営業費		2,223		2,185	
営業利益		504		667	
<b>観光事業</b>					
営業収益		17,558		17,462	
営業費		16,637		16,685	
営業利益		921		776	
<b>土地建物事業</b>					
営業収益		1,902		1,969	
営業費		1,401		1,470	
営業利益		500		498	
<b>全事業営業利益</b>		<b>1,968</b>		<b>1,979</b>	

科 目	期 別	第110期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)		第109期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	
<b>営業外収益</b>		286		314	
<b>営業外費用</b>		1,143		1,208	
<b>経常利益</b>		1,112		1,085	
<b>特別利益</b>		304		99	
<b>特別損失</b>		1,090		216	
<b>税引前当期純利益</b>		326		968	
<b>法人税、住民税及び事業税</b>		310		417	
<b>法人税等調整額</b>		△412		2	
<b>当期純利益</b>		<b>428</b>		<b>549</b>	

## 株主資本等変動計算書（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）

単位：百万円

	株主資本										評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金 合計					
前期末残高	9,126	2,398	1,001	3,399	1,959	219	1,731	3,910	△1,066	15,370	△445	14,925
当期変動額												
剰余金の配当							△535	△535		△535		△535
当期純利益							428	428		428		428
自己株式の取得									△120	△120		△120
自己株式の処分			※1 0	※1 0					※2 0	※3 0		※3 0
株主資本以外の項目の 当期の変動額（純額）											362	362
当期変動額合計	—	—	※1 0	※1 0	—	—	△106	△106	△120	△227	362	135
当期末残高	9,126	2,398	1,001	3,399	1,959	219	1,624	3,803	△1,186	15,143	△82	15,060

（注）※1は18千円、※2は350千円、※3は368千円であります。

# FUJIKYU TOPICS

Year In Review

当期のトピックス紹介

## 4 富士本栖湖リゾートで「富士芝桜まつり」開催

富士本栖湖リゾートで3回目の開催を迎えた「富士芝桜まつり」は営業日数の拡大や早朝営業の実施、物販・飲食部門の強化により前回を上回る43万人のお客様にご来場いただきました。



## 5 富士急ハイランドに新アトラクション続々オープン

富士急ハイランドに人気アニメ映画「エヴァンゲリオン新劇場版」の世界感が楽しめるパビリオン「EVANGELION: WORLD」、また、人気ゲームソフト「戦国BASARA」と提携したウォークスルー型アトラクション「合戦 戦国BASARA」、



©カラー

EVANGELION: WORLD

さらにトーマスランドには「トーマスランド3Dシアター」「GO!GO!バルストロード」がそれぞれオープンしました。

4

5

6

7

8

9

## 遊園地「Grinpa」に「ピカソのタマゴ」オープン

遊園地「Grinpa」に考えるアスレチック「ピカソのタマゴ」がオープンしました。また、12月には冬季限定の「雪ピカソ」がオープンしました。



## 中国上海に営業拠点を設置

株式会社富士急セールスでは、訪日観光客の伸長が今後も一層期待できる中国上海に営業拠点を設置し、当社グループ施設への誘致拡大を図りました。





## 富士急行カーリング部「チームフジヤマ」発足



ウインタースポーツの更なる普及、振興を目指しカーリング部「チームフジヤマ」が発足しました。「チームフジヤマ」のゼネラルマネージャー兼ヘッドコーチには元全日本代表チーム監督を務めた小林宏氏が就任しました。



## ハイランドリゾート ホテル&スパに「FUJIYAMA TERRACE」オープン

ハイランドリゾート ホテル&スパにダイナミックな富士山の眺望が楽しみいただけるメインダイニング「FUJIYAMA TERRACE」がオープンしました。

3

2

1

12

11

10

## さがみ湖リゾート プレジャーフォレストで「さがみ湖イルミリオン」開催

さがみ湖リゾート プレジャーフォレストで2回目の開催を迎えたイルミネーションイベント「さがみ湖イルミリオン」はLEDを200万球に増強して開催し、前回の約3倍となる16万人のお客様にご来場いただきました。



## 小山町道の駅「すばしり」を運営受託

株式会社ピカでは、指定管理者制度により静岡県小山町道の駅「すばしり」観光交流センターの運営を受託し、本年4月より営業を開始しました。



## 富士急ハイランド

### 新大型ローラーコースター 「高飛車」7月16日オープン!

高飛車  
たかびしゃ



富士急ハイランドに総工費約30億円の新大型ローラーコースター「高飛車(たかびしゃ)」が7月16日(土)にオープンいたします。これにより「FUJIYAMA」「ドドンパ」「ええじゃないか」と合わせ富士急ハイランドに「4大コースター」が揃います。

「高飛車」はリニアランチ方式による直線加速と、垂直巻上げによる落下という、2種類の加速が楽しめるコースターです。リニアランチ方式による直線加速は風を切るほどの“加速感”を体感できます。また、垂直巻上げでは“空を見ながらの姿勢での上昇”、直後の“落下姿勢での一時停止”、“最大落下角度121度のえぐるような落下”と息つく間もないほどの絶叫体験が待ち受けます。最大落下角度121度は世界最大となり、ギネス世界記録に申請中です。この申請が認められると、通算14個目のギネス世界記録獲得となり、1996年の「FUJIYAMA」以降、大型コースターを導入する度にギネス世界記録を獲得するという快挙となります。

- オープン : 平成23年(2011年)7月
- 総工費 : 約30億円
- コース全長 : 約1,000m
- 最高速度 : 100km/h
- 最大落下角度 : 121度 ※ギネス世界記録申請中
- 所要時間 : 約2分
- 乗車定員 : 8名

SPEC

# 富士急ハイランド4大コースター ギネス世界記録への挑戦

## 「FUJIYAMA」

高さ 巻上げ高さ 落差 速度 の4つが世界一（当時）



ローラーコースターの王道を極限までつきつめた、世界のアミューズメントシーンに残る怪物マシン「キング・オブ・コースター」

- オープン : 平成8年(1996年) 7月
- 総工費 : 約30億円
- コース全長 : 2,045m
- 最高速度 : 130km/h
- 最高部の高さ : 79m
- 所要時間 : 約3分30秒
- 乗車定員 : 28名

## 「ドドンパ」

速度 が世界一（当時）



スタートからわずか1.8秒で最高速度172km/hの世界に突入。ワールドブッチギリコースター。

- オープン : 平成13年(2001年) 12月
- 総工費 : 約30億円
- コース全長 : 1,189m
- 最高速度 : 172km/h
- 最高部の高さ : 52m
- 所要時間 : 約1分
- 乗車定員 : 8名

## 「ええじゃないか」

総回転数  
(14回) が世界一

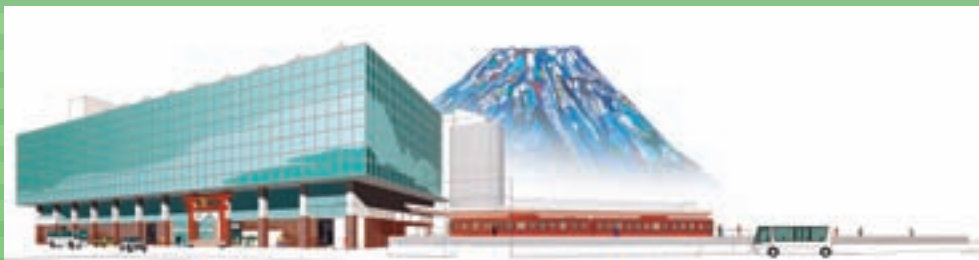
3つの回転要素（座席自体の回転、レールのループ（宙返り）、レールのひねり）が、かつてないスリルと爽快感を生み出した異次元コースター。

- オープン : 平成18年(2006年) 7月
- 総工費 : 約36億円
- コース全長 : 1,153m
- 最高速度 : 126km/h
- 最高部の高さ : 76m
- 所要時間 : 約2分
- 乗車定員 : 20名



## 「富士山駅」 7月1日誕生！

本年7月1日、富士急行線の富士吉田駅を名称変更し、「富士山駅」が誕生いたします。



DESIGNED & ILLUSTRATED BY EIJI MITOOKA + DON DESIGN-ASSOCIATES

富士山の玄関口として、自然環境に恵まれた「富士山に一番近い鉄道」富士急行線にふさわしい健康的で魅力的な公共空間となるよう、駅施設の一部リニューアルを実施いたします。

今後は富士吉田市や商工会議所、地元商店街などの地域と連携し、富士山駅を起点とした街めぐり散策ルートの整備や、共同イベントの企画などにも取り組むとともに、国内外の富士登山・富士山観光のお客様への知名度向上と富士北麓エリアへのさらなる集客・誘致を図ってまいります。

### ■ 駅前広場

富士山の玄関口にふさわしいシンボルとして、高さ約7メートル、朱塗りの大鳥居を設置します。富士山の神である「木花咲耶姫（コノハナノサクヤヒメ）」を祀る「北口本宮富士浅間神社」が富士山吉田口登山道の入口にあっていることに倣ったものです。

DESIGNED & ILLUSTRATED BY EIJI MITOOKA + DON DESIGN-ASSOCIATES



DESIGNED & ILLUSTRATED BY EIJI MITOOKA + DON DESIGN-ASSOCIATES

### ■ コンコース・プラットホーム

待合室をコンコースに移設し、新たに四方をガラス張りとした、開放感あふれるデザインとしました。プラットホーム上には、電車を待つ間に、ちょうど富士山を正面に仰ぐ位置で眺望をお楽しみいただけるよう、新たに「展望デッキ（仮称）」を設置します。

## 水陸両用バス 「YAMANAKAKO NO KABA」 運行開始

本年4月より山中湖にて、車輪とスクリューを備えた水陸両用バス「YAMANAKAKO NO KABA」を運行開始いたしました。

「YAMANAKAKO NO KABA」は四季折々の表情を見せる富士の麓の森林地帯を走行した後、「陸からそのまま湖に入る」という非日常的な瞬間を経て、いよいよ雄大な富士を望む山中湖

を優雅にクルージングいたします。このバスに乗れば、一台で陸から湖上から、世界に誇る富士山と山中湖の自然の素晴らしさを、どなたでも気軽に“五感”で体感していただけます。

「YAMANAKAKO NO KABA」の運行開始に先立ち、河口湖で運行を開始した屋根のないオープンバス「KABA BUS」とともに富士五湖観光をお楽しみください。



YAMANAKAKO NO KABA



KABA BUS

## 東日本大震災の被災地・被災者支援について

去る3月11日に発生した東日本大震災の被災地・被災者への支援として、当社グループでは被災地・被災者支援に役立てていただくために、当社グループ全職員による義援金の募集を行ったほか、主要なグループ施設の入園料の一部を義援金として寄付いたしました。

また、富士急ハイランドでは複数のアーティストが出演したチャリティイベント「チャリティプロジェクトin富士急ハイランド」を開催したほか、避難生活を送る被災者を「富士芝桜まつり」や「ふじやま温泉」へ無料招待するなど、支援活動を行いました。

当社グループでは、今後もグループ各施設における募金活動など、継続的な支援活動を行ってまいります。被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



# 会社概況

## 会社概要 (平成23年3月31日現在)

- 商号 富士急行株式会社  
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号  
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15（1926）年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

## 役員 (平成23年3月31日現在)

取締役会長 (代表取締役)	堀内 光雄	取締役	尾崎 護
取締役社長 (代表取締役)	堀内 光一郎	取締役	石川 二比古
専務取締役	帆足 雅晴	取締役	小林 正幸
専務取締役	堀内 哲夫	取締役	井田 正久
専務取締役	福重 隆一	取締役	勝部 一成
常務取締役	小泉 孝有	常勤監査役	高野 久夫
取締役	林 有厚	常勤監査役	矢野 勝守
取締役	宇野 郁夫	監査役	清堀 水田力
取締役	秋山 智史	監査役	吉岡 吉田信一
取締役	藤田 讓	監査役	岡本 和也

## 連結子会社の状況 (平成23年3月31日現在)

### [ 運輸部門 ]

- 岳南鉄道(株)
- 富士急行観光(株)
- 富士急平和観光(株)
- 富士急山梨バス(株)
- 富士急シティバス(株)
- 富士急静岡バス(株)
- (株)フジエクスプレス
- 富士急湘南バス(株)

- 富士急オートサービス(株)
- (株)静岡ホールディング
- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリンリゾート

### [ レジャー・サービス部門 ]

- (株)富士急ハイランド
- (株)フジヤマリゾート

- 相模湖リゾート(株)
- (株)富士宮富士急ホテル
- ハイランドリゾート(株)
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)ピカ

### [ 不動産部門 ]

- (株)富士急リゾートアメニティ

### [ その他部門 ]

- (株)富士急百貨店
  - 富士急建設(株)
  - (株)レゾナント・システムズ
  - 富士ミネラルウォーター(株)
- その他9社



# 株式情報

## 株式の状況 (平成23年3月31日現在)

発行可能株式総数	331,695,000 株
発行済株式の総数	109,769,477 株
株主数	6,080 名

## 大株主 (平成23年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
財団法人堀内浩庵会	12,912	11.76
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.58
日本生命保険相互会社	10,633	9.69
富国生命保険相互会社	10,624	9.68
朝日生命保険相互会社	7,650	6.97
株式会社東京ドーム	3,052	2.78
富士急行株式会社	2,962	2.70
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 スルガ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,555	2.33
日野自動車株式会社	2,506	2.28
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.25

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# 株主優待のご案内

## 電車・バス・観光施設 共通優待券

## フリーパス引換券

## 高速バス乗車券

## 電車・バス全線 優待パス

35,000株以上

- 電車全線乗車  
(1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車  
(1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド  
(1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)



× 40 枚

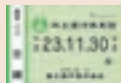


× 6 枚



× 4 枚

電車・バス  
全線優待パス  
(表示された持参人  
1名)



× 1 枚

20,000株以上

- ぐりんぱ  
(1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)
- さがみ湖リゾート  
プレジャーフォレスト  
(1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- スノータウンYeti  
(5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)



× 25 枚



× 5 枚

高速バス  
乗車券



× 2 枚

10,000株以上

- あだたら高原スキー場  
(5枚につきリフト1日券またはゴンドラ往復券1枚と引換)
- 初島アイランドリゾート  
(1枚につき1名入園)
- 天上山公園カチカチ山  
ロープウェイ  
(1枚につき1名乗車(往復))



× 15 枚

- 遊園地フリーパス  
(富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖リゾートプレジャーフォレスト)
- スキー場一日券  
(スノータウンYeti・あだたら高原スキー場)



× 4 枚



× 1 枚

5,000株以上

- 河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船  
(1枚につき1名乗船)
- 初島航路  
(1枚につき1名乗船(片道)、2枚につき1名乗船(往復))



× 10 枚



× 3 枚

注) 高速バス乗車券は、中央高速バス富士五湖線・富士山五合目線・甲府線及び東名高速バス東京駅～河口湖線の当社便に限りご利用いただけます。

3,000株以上

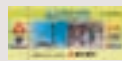
- フジヤマミュージアム  
(1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉  
(2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- 富士芝桜まつり(富士本栖湖リゾート)  
(1枚につき1名入園)



× 7 枚



× 2 枚



× 1 枚

1,000株以上

- 富士芝桜まつり(富士本栖湖リゾート)  
(1枚につき1名入園)
- ※開催期間をご確認ください。

## 施設割引券

ハイランドリゾート  
ホテル&スパ  
ホテルマウント富士

1枚につき1室室料  
20%または自社企画  
宿泊商品10%割引

ホテルマウント富士  
プール割引券

20%割引 (1枚に  
つき4名まで)

2枚

富士宮富士急ホテル  
甲府イーストサイド  
ホテル

3ホテル共通1枚に  
つき1室室料20%  
または自社企画宿  
泊商品10%割引

富士急グループホテル  
飲食割引券

レストラン・バー、  
食事付入浴10%割  
引 (1枚につき4名  
まで)

5枚

富士ゴルフコース

所定プレー料金か  
ら2,000円割引 (1  
枚につき4名まで)

ゴルフパーク  
[Bandi]

所定プレー料金か  
ら1,000円割引、土・  
日・祝日2,000円割引  
(1枚につき4名まで)

1枚

大富士ゴルフ場

所定プレー料金か  
ら2,000円割引 (1  
枚につき4名まで)

ふじやま温泉

入館料 平日大人  
750円 小人400円  
土日 大人1,000  
円 小人500円 (1枚  
につき4名まで)

PICA山仲湖ヴィレッジ

コテージ1棟(素泊  
り) 10%割引 レス  
トラン「FUJIYAMA  
KITCHEN」5%割引

2枚

PICA富士吉田・  
PICA富士西湖・キャ  
ンピカ富士ぐりんば

1枚につき1泊1室  
10%割引

富士ミネラルウォーター

1枚につき20%割  
引 (1ケース以上)

1枚

富士急トラベル

パッケージ旅行代  
金の5%割引 (1枚  
につき4名まで)

2枚

富士急ハイランドポ  
ウリング場

1ゲーム350円 (1  
枚につき4名まで)

富士急オートサービス

車検・点検・整  
備 工賃10%割引

1枚

## 長期保有特別優待券



× 3枚

「ハイランドリゾート  
ホテル&スパ」「ホテ  
ルマウント富士」の  
指定するツインルー  
ム室料100%または  
ホテル内レストラン  
利用料30%割引券



× 2枚

### ● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に対してそれぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

### ● 長期保有特別優待券について

- ・長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日(3月31日、9月30日)の株主名簿において、対象となる株式数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住所が継続して同一である株主様へ**3年経過ごと**に発行しております。**(3年に1度の発行となります。)**相続による名義人の変更があった場合、また、継続保有されている株主様であっても基準日現在において、何らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有していない場合は対象となりませんのでご注意ください。
- ・長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、旧盆(8月)等ホテルが定めた日のご宿泊にはご利用いただけません。またレストラン利用料の割引額の上限は3万円といたします。その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



## 富士急行株式会社

本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号

東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyu.co.jp/>